

令和 7 年度第 1 回大田区認知症専門部会の実施内容について

- ・ 令和 7 年度第 1 回大田区認知症専門部会の実施内容
- ・ 大田区認知症施策推進計画の基本理念及びめざす姿について（案）

令和7年度第1回大田区認知症専門部会の実施内容

令和7年度第1回大田区認知症専門部会 次第

【日 時】 令和7年8月26日（火） 13 時30 分から15 時まで 【会 場】 大田区蒲田地域庁舎 5階 小会議室 2

< 次 第 >

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 委員紹介
4. 議 事

（1）大田区認知症施策推進計画策定に向けた認知症専門部会の設置について

（2）大田区認知症施策推進計画の基本理念及びめざす姿について

議事の進め方について

事務局から議事内容
について資料を使用
して説明

事務局からの説明に
対する委員からの
質疑応答

部会長を中心に部会
委員全員で検討事項に
ついて議論

専門部会の最後に
議論した内容を部会長
が取りまとめ

令和7年度第1回大田区認知症専門部会の実施内容

議事（1）大田区認知症施策推進計画策定に向けた認知症専門部会の設置について

- 認知症施策推進計画に係るこれまでの経過及び大田区の認知症施策の現状（下段左）や、大田区認知症施策推進計画策定に向けた認知症専門部会の設置（下段右）について、事務局から説明。その際、認知症専門部会の位置付けや推進会議との関係性、認知症施策推進計画策定までのスケジュール感なども共有。

※説明内容は、令和7年度第1回大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議の議事（4）「大田区認知症施策推進計画策定に向けた認知症専門部会の設置について」で説明した内容と同様。

これまでの経過及び大田区の認知症施策の現状

これまでの経過

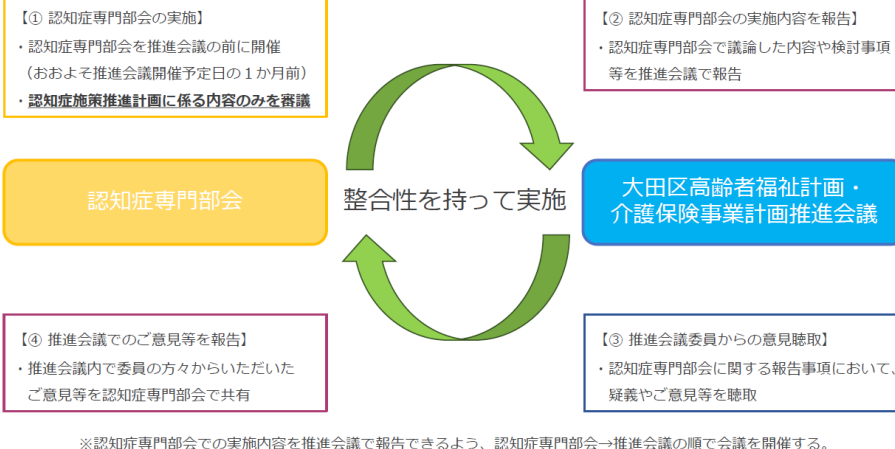
- 令和6年12月 国において、**認知症施策推進基本計画**が閣議決定
- 基本法において、**都道府県認知症施策推進計画及び市町村認知症施策推進計画の策定が努力義務**とされた。
 - 基本法の施行に先立ち開催された「認知症と向き合う「幸齢社会」実現会議」において、認知症施策を認知症の人を起点に実施することや、認知症と共に希望を持って生きるという「**新しい認知症観**」の**理解促進の重要性等が示された。**
- ※「新しい認知症観」とは、認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方。
- 令和7年3月 認知症施策推進基本計画を基本としつつ、東京都の実情に即した、**東京都認知症施策推進計画を策定**
- 国の動向や認知症をめぐる状況の変化にも対応した、東京都の認知症施策に関する基本的・総合的な方向性を示すものであり、また、**区市町村が計画を策定する際の参考となるもの**である。

大田区としても、区の実情に即した認知症施策推進計画を策定することが求められている

2

大田区の認知症施策推進計画策定に向けた専門部会の設置

認知症専門部会と大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議の関係



6

議事（2）大田区認知症施策推進計画の基本理念及びめざす姿について ①

- 東京都認知症施策推進計画の理念である「認知症があってもなくても都民一人ひとりが相互に尊重し、支え合いながら共生し、認知症になってからも尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる東京の実現。」やその内容について共有。（下段左）
- 大田区の将来像である「心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区」の実現に向けて、令和7年3月に策定された大田区基本計画の内容について共有。その際、大田区基本計画の基本目標2、施策2-1「高齢者一人ひとりが充実した暮らしを送るための環境の整備」において、高齢者施策全般に係る内容を記載しており、認知症施策についてもこの施策内で言及していることを説明。（下段右）

大田区認知症施策推進計画の基本理念及びめざす姿について

東京都認知症施策推進計画の理念

【計画の理念】

認知症があってもなくても都民一人ひとりが相互に尊重し、支え合いながら共生し、認知症になってからも尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる東京の実現。

認知症は誰もがなり得ることから、都民の認知症に対する理解を深めることにより、認知症のある人やその家族等が良い環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症があってもなくても、同じ社会の一員として地域をともに創っていくことが必要です。基本計画においても、認知症のある人を含めた国民一人ひとりが「新しい認知症観」（認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考え方）に立ち、共生社会を創りあげていく必要がある、としています。



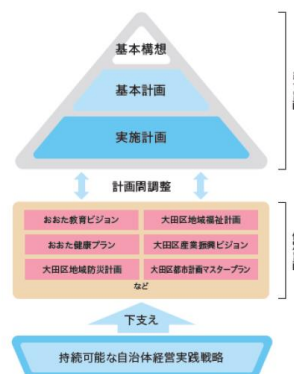
出典：東京都認知症施策推進計画（P2）

2

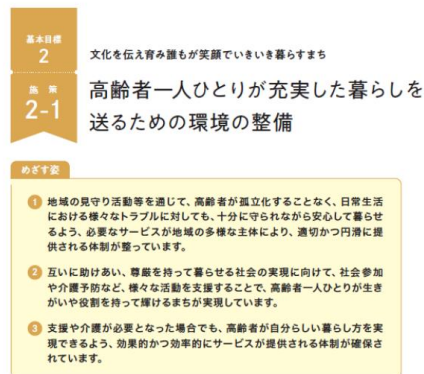
大田区認知症施策推進計画の基本理念及びめざす姿について

大田区の将来像及び大田区基本計画の位置づけ、認知症施策に関連している箇所について

将来像「心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区」



出典：大田区基本計画（P5）



出典：大田区基本計画（P74）

3

議事（2）大田区認知症施策推進計画の基本理念及びめざす姿について ②

- 認知症施策推進計画の策定に向けて、基本理念やめざす姿などの関係性を図式化したものを示し、各認知症施策の推進を着実に進めていくことによって、めざす姿や基本理念の実現につながることを説明。（下段左）
- 大田区の実情に即した基本理念及びめざす姿を検討する際の参考となるよう、認知症施策推進基本計画を参考に基本理念やめざす姿を仮置きして提示。（下段右）
- 議事（2）について事務局から説明後、認知症専門部会委員の皆様と一緒に意見を出し合いながら、認知症施策推進計画の基本理念やめざす姿について検討。（次ページ以降参照）

大田区認知症施策推進計画の基本理念及びめざす姿について

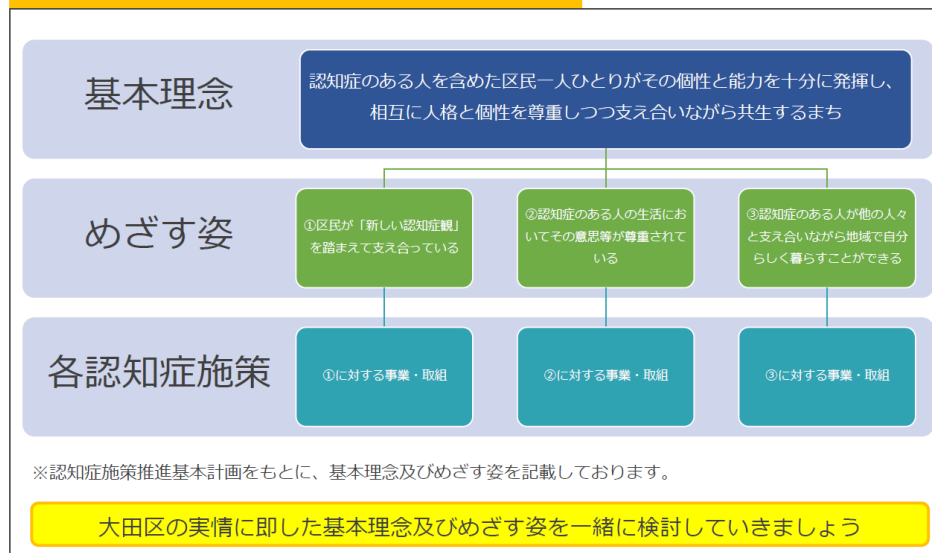
大田区認知症施策推進計画の基本理念及びめざす姿について



5

大田区認知症施策推進計画の基本理念及びめざす姿について

大田区認知症施策推進計画の基本理念及びめざす姿について（仮）



8

＜ 認知症施策推進基本計画の基本理念を参考に仮置きした基本理念 ＞

認知症のある人を含めた区民一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生するまち

基本理念の検討にあたっていただいたご意見 ①

（１）「認知症のある人を含めた区民」という表現について

- 「認知症のある人を含めた区民一人ひとり」という表現が、何となく分けていたものを一緒にするようなニュアンスが含まれているように感じました。
- 「認知症のある人を含めた区民」というところが、もともと分かれているものを頑張って一緒にしようというニュアンスを感じました。認知症があろうがなかろうが皆が、という感じの表記にしても良いかなと思いました。
- 基本的な考え方として、「認知症のある人を含めた区民」という言い方が少し引っかかります。「認知症のある人を含めた区民」という言葉よりも、認知症があってもなくても、認知症に関してしっかり考えていこう、みたいな考え方というのがもう少し出たほうが良いかなと思います。それが、新しい認知症観で出てきた言葉の意味するところじゃないかなという気がします。
- 認知症のある方、ない方も含めた区民の方ということで分けせずに、地域で安心して暮らせるまちづくりのようなところが良いのかなと思いました。

< 認知症施策推進基本計画の基本理念を参考に仮置きした基本理念 >

認知症のある人を含めた区民一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生するまち

基本理念の検討にあたっていただいたご意見 ②

（２）基本理念で使われている文言について

- 基本理念に立ち返ることができるような、そのまま原点になっていくような言葉になるといいのかなと思います。
- 基本理念なので、どこまで砕けたって言い方は変ですけども、区民の方に伝わるような言葉が入るといいのかなと思います。
- 10回ぐらい読み直して、ああ、そういうことなのかって、多分とても頭の良い人たちが作った文章なんだろうな、というのは分かったのですが、恐らく一区民としてこれを読んだ時に、スッとは入ってこないだろうな、と感じました。基本理念では、難しい言葉で相互、人格、尊重、共生という言葉を使わなければいけないのかもしれませんが、基本的に私は誰もが大田区に住んでいてよかったとか、これからの人たちが大田区に住み続けたい、というようなまちを目指せたらいいのかなと思っています。
- 元々この計画自体が大田区認知症施策推進計画という表題で、既に「認知症」という言葉が使われているので、あえて基本理念で「認知症」という言葉を使わなくてもいいのかなと思いました。

＜ 認知症施策推進基本計画の基本理念を参考に仮置きした基本理念 ＞

認知症のある人を含めた区民一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し、
相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生するまち

基本理念の検討にあたっていただいたご意見 ③

（３）キャッチフレーズのようなサブタイトル案について

- 「認知症になっても安心して暮らせる大田区」など何か響くものが欲しいかなと思います。言葉のキャッチボールじゃないですが、心に響くものがあるといいなと思いました。
- 区民の方は、キャッチコピー的な部分を中心にお伝えしたほうが入りやすいのではと思います。また、専門職の方に関しては、基本理念をそのまま使うなど、どちらも使い分けができたらいいなと個人的には思いました。
- 大田区の将来像の言葉がいくつかあるといいかもしれません。例えば、「認知症になっても笑顔のまち」はいかがでしょうか。
- 響く言葉、明るくイメージできるような言葉があると、区民の方も共感できるかなという気がします。

< 認知症施策推進基本計画の基本理念を参考に仮置きした基本理念 >

認知症のある人を含めた区民一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し、
相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生するまち



< 議論した内容を踏まえた大田区認知症施策推進計画の基本理念（案） >

区民一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し、
相互に人格と個性を尊重し、支え合いながら安心して暮らせるまち
～ 認知症になっても安心して暮らせる笑顔のまち 大田区 ～

※来年度策定するおおた高齢者施策推進プランの基本理念と整合性を取るために、今後修正する可能性がございます。

< 認知症施策推進基本計画を参考に仮置きしためざす姿 >

①区民が「新しい認知症観」を踏まえて支え合っている

②認知症のある人の生活においてその意思等が尊重されている

③認知症のある人が他の人々と支え合いながら地域で自分らしく暮らすことができる

めざす姿の検討にあたっていただいたご意見

- ①と③が同じような言葉で、最後のところに地域で自分らしく暮らすことができるという言葉がついているか否か、ということだけかなと思いました。例えば、65歳でもお仕事している人はたくさんいらっしゃるって、定年延長というところもありますので、**社会参加なども想定して検討**しても良いと思います。
- 社会参加というのは認知症の当事者の方でやってらっしゃる方もたくさんいますので、そのような意味では、**社会で活動する方をめざす姿に入れても良いのかなと思いました。**
- 介護の現場で働く人向けに研修など行っていますが、その時に**最初にお願いしたいことが、認知症というものに興味を持って欲しい**という点です。**興味を持った上で、正しい知識を知る、そしてそこから正しい対応を経て尊重できるところまで持っていく**というのがあります。ただ、そこで終わってしまうと、見えない壁のようなものが取れなくて、認知症のある人とない人のような分け方になってしまうのかなと思います。**正しい知識を得て、正しく接することができるようになった上で、最終的には認知症が気にならなくなる世の中がいいんじゃないかなと思っています。**言っていることは矛盾してしまっていますが、**認知症に興味を持った上で、最終的には認知症になっても気にならないようなまち**になって欲しいと考えています。

※検討中に会議終了時刻となったため、認知症専門部会委員からのご意見を踏まえ、事務局で検討を進め、第2回認知症専門部会で改めて提示する予定。

大田区認知症施策推進計画の基本理念及びめざす姿について（案）

第2回認知症専門部会について

<開催日程>

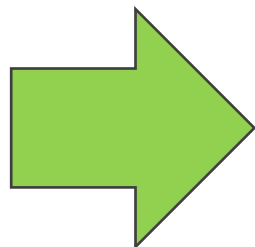
令和7年12月頃を予定

<議事内容（予定）>

- 大田区認知症施策推進計画の基本理念及びめざす姿についての振り返り
- 第2回大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議でいただいたご意見の共有
- めざす姿についてのさらなる検討

大田区高齢者福祉計画・ 介護保険事業計画推進会議

- （1）認知症専門部会の実施内容を報告
 - ・ 認知症専門部会で議論した内容や検討事項等を推進会議で報告
- （2）推進会議委員からの意見聴取
 - ・ 認知症専門部会に関する報告事項において、疑義やご意見等を聴取



連動性を持って実施

認知症専門部会

- （1）第1回認知症専門部会の振り返り
 - ・ 前回の専門部会で議論した内容について事務局で取りまとめたものを共有
- （2）推進会議でのご意見等を報告
 - ・ 推進会議内で委員の方々からいただいたご意見等を認知症専門部会で共有